

# がんセンター

## ■ スタッフ

センター長		中瀬一則（血液内科）
副センター長		小塚祐司（病理部）
		森多佳美（副看護部長）
医師	常勤	3名
看護師	常勤	1名
事務職員	常勤	1名
	非常勤	10名

## ■ がんセンターの特色

がんセンターは、医学部附属病院内の各診療科の縦割りの垣根を超えて、診療科横断的に、適切ながん集学的治療、チーム医療を推進するための活動を行っています。支援系統 5 部門、診療系統 11 部門の計 16 部門より構成され毎月、各部門のリーダー（医師）と県の医療保健部の担当者より構成されるリーダー会議を毎月、第一水曜日に開催し、病院内のがん医療についての情報共有や意見交換と県のがん対策の取り組みについて協議しています

## ■ 活動内容

がんセンターでは定期的な活動として、病院全体で tumor board を開催して、確定診断が困難な症例、治療が複数の診療科に関わる症例について、最適な治療方針を迅速に決定するための協議を行っています。毎月、第二水曜日の午後 6 時より、画像診断や病理診断の専門医、外科手術、化学療法、放射線療法、緩和ケア等の専門医、さらに関連の薬剤師、検査技師、放射線技師、看護師、臨床心理士、MSW 等の関係者が毎回、合わせて 100 名前後参加し、活発な討議が行なわれています。

また、がん医療に携わる医療従事者対象の早期か



図 1. 緩和ケア集合研修会

らの緩和ケアを考える会を 5 月 16 日（金）に、緩和ケア集合研修会を 5 月 26 日（日）（図 1）に、患者の意向を尊重した意思決定のための研修会を 8 月 25 日（日）に開催し、それぞれ 50 名、27 名、41 名の方が参加されました。県内の緩和医療の充実のために、がん医療に携わる医療従事者が必修の緩和ケア研修会だけでなく、研修後のメンテナンスやさらなるスキルアップを目指すための取り組みを続けています。

また、多職種連携事業として、医科歯科連携推進人材養成研修会を、1 月 26 日（日）（図 2）に、三重県歯科医師会館で開催し、152 名の方が参加されました。今回は、がんリハビリテーションの中での医科歯科連携の役割について研修を行いました。



図 2. 医科歯科連携研修会

がん医療に携わる医師、薬剤師、看護師等の多職種連携の勉強の場として、第 24 回がんチーム医療研究会を、9 月 13 日（金）に、ホテルグリーンパーク津で開催し、46 名の方が参加され、各職種の交流を深めました。この研究会は、文部科学省の「がんプロフェッショナル養成プラン」のインテンシブコースとして開催しています。

がんセンターでは、上記の「がんプロフェッショナル養成プラン」によるがん専門医療人の育成に取り組んでおり、2 月 13 日（木）、14 日（金）（図 3）の 2 日間で、連携する京都大学、滋賀医科大学、大阪医科大学、京都薬科大学の大学院生 18 名が参加する 5 大学連携がんプロ短期研修を三重大学が主催して開催しました。がんゲノム医療コース、放射線治療コース、緩和医療コースの 3 コースを設置し、それぞれのコースで講義、実習を行い、2 日目に研修成果の発表会を行いました。最後の discussion では、全員が意見を述べ、非常に有意義であった、今後も是非、この短期研修を続けてほしいとの感想があり、好評でした。今後も継続して、人材の育成を進めていく予定です。



図3. がんプロ短期研修

三重県のがん対策推進計画で、がん患者の就労支援に取り組むことが掲げられているため、今年度は、がんセンターで、がん患者就労支援についてのアンケート調査を実施しました。その結果報告と今後の就労支援の推進を目的として、9月18日(水)に、三重県総合文化センターで、がん就労支援セミナーin三重を開催しました。県内から57名の医療従事者の方が参加され、活発な討議が行われました。

地域住民の方へのがん医療の啓発活動として、今年度は3回、市民公開講座を開催しました。5月12日(日)に、三重大学医学部の第二講義室で、「生命の駅伝」とのジョイント公開講座を行い、生命の駅伝の寄付金受賞者の研究発表と三重県のがん対策についての講演を行い49名の方が参加されました。また、9月21日(土)に、志摩の旧伊勢志摩ロイヤルホテルで、竹内千尋志摩市長もお呼びして、消化器がん(胃・大腸)の外科治療をテーマとして、公開講座を行いました。当日、別の大きなイベントが重なりましたが、38名の方に参加して頂きました。2月15日(土)(図4)には、三重県総合文化センタ



図4.津の総合文化センターでの市民公開講座一中ホールで、「がんのゲノム医療について」をテーマにして、公開講座を行いました。新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されましたが、マスクの配布

とアルコール手指消毒を徹底し大過なく終了することができ、586名の方が参加されました。

また、県のがん対策として取り組んでいる「がん教育」の出前授業については、今年度も、がんセンターのリーダーの医師、計7名の方に、9月から12月にかけて、県内の小学校、中学校に出向いて、授業を行って頂きました。

2月4日(火)に、開催されたワールドキャンサーデーのメッセージキャンペーンに、がんセンターも参加しました。院内の172名の方にメッセージを書いて頂き、そのカードを病院玄関に掲示しました(図5)。



図5. 病院玄関に掲示されたメッセージカード

がんセンターが今年度に集計した、三重大学医学部附属病院の院内がん登録のデータ(初回治療のみ)を下記に示します。

平成31年度に行った院内がん登録数		
原発部位	ICDO-3	総計
口腔・咽頭	C00-C14	153
食道	C15	76
胃	C16	149
結腸	C18	108
直腸	C19-C20	91
肝臓	C22	136
胆嚢・胆管	C23-C24	45
膵臓	C25	154
喉頭	C32	19
肺	C33-C34	228
骨・軟部	C40-C41,C47,C49	54
皮膚(黒色腫を含む)	C44	215
乳房	C50	360
子宮頸部	C53	153
子宮体部	C54	93
卵巣	C56	63
前立腺	C61	258
腎・他の尿路	C64-C66,C68	178
膀胱	C67	77
脳・中枢神経	C700,C71,C722-C729,C751-C753	70
甲状腺	C73	53
悪性リンパ腫	959-972,974-975	120
多発性骨髄腫	973,976	14
白血病	980-994	33
他の造血器腫瘍	995-998	23
その他	-	57
<b>総計</b>		<b>2980</b>